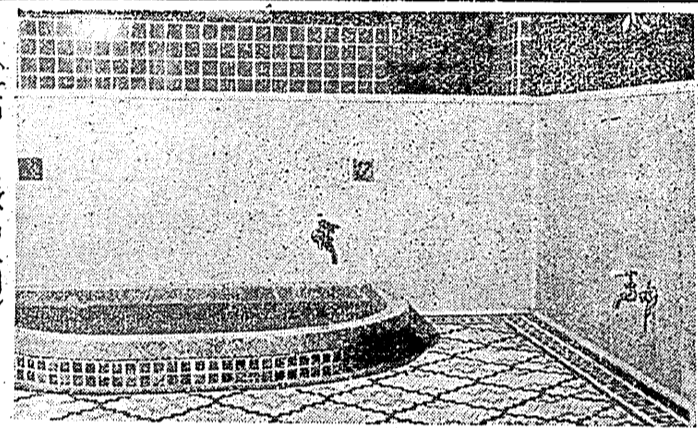


東北港灣振興座談會 速記 錄

小名濱港 (二十二番の続き)

小名濱港の性質を考へると、例へば門司とか下關とか中畿の港、新嘉坡香港と云ふやうな中畿的な港ではなく、背後を養ふ、背後の土地から養はると云ふ風な港であるから、要するに背後の土地を利用しなければならぬ、さう云ふ風な點から鐵道の敷設も考へなければならぬ、向石炭の出荷噸数は將來段々に増加は致しませうが、五十萬噸と云ふ限られた數字で大小小濱百年の計は樹てられないと思ひます、百萬噸二百萬噸にすることそれが眞の振興策であると思ひますが、吾々耐火煉瓦に關聯する事業として斯ふ云ふことを考へるのであります、日本の製鐵事業と云ふものが九州の製鐵事業を中心として、日本の半分は八幡で生産される、八幡も三年で事業計畫が完成されるが、大體國防上の見地から云つても各所に製鐵の仕事を分布する方が宜くはないかと思ふのであります、さう云ふ見地から斯う云ふ所に製鐵所を引張つて来てさうして仕事をやつて貰ふと云ふ事は出入の貨物を二重する、石炭は出してしまへば出荷は一回である、原料を持つて来て加工して出せば出入も二回になり、港灣の利用は倍加すると云ふ事になりますので、さう云ふ風な工場を持つて来ると云ふ様な事も有効であらうと思ひます、さう云ふ風な計畫をして縣の有力者が利用者を呼び寄せる努力をする、兎に角港灣が發展する爲には各種の荷物が出入りしなければならぬ、各種の荷物が出入りして始めて運賃が安くなる、さう云ふ様な意味で色々の工業を持て来る事は必要であると思ひます、吾々の方は段々原料が少くなつて参りますので、最近朝鮮支那滿洲方面から持つて居りますが、船に依つてやるので割合に安く行つて居りますから、此港完成後は支那、印度、南洋方面から持つて来る積りであり、幸に石炭は豊富でありますからさう云ふ原料を持つて来て、



(女中さん数名入用)

初秋の小瀧へ!!!
◎宿泊 1.50 2.00 2.50
(御滞在は上記料金にて中食料を含ませます)
◎日歸浴席料 20
◎自炊料 50-80 (入場料室料衣具料一切)
◎料理一定食 80 1.00 1.50
(其の他一品料理一洋食)
◎湯 効 神経痛・リウマチス・胃腸病・痔疾
婦人病・逆上・中風・脂肪病
(内務省東京衛生試験所検定)
◎諸設備 どうきゅう堂・高級ラヂオ・大廣間
讀書室・近代的浴場と洗面所
水洗式便所・小動物園・御子様運動器具
◎名物 川魚料理(うなぎ・鯉)蜂蜜羊羹
いちご羊羹
常磐線本驛下車・小瀧源泉 電話(小名濱)103番
旅館 瀧の湯
御自炊

内科 小兒科
外科 耳鼻科
花柳病科
宮津醫院
小名濱町後場 電話一四二番

外科専門 レントゲン科
上田科醫院
病室の設備有り入院應需
平町南町

一般外科 (整形外科)
内 科 花柳病科
草野醫院
小名濱町
電話一七三番

耳鼻咽喉科 専門
小名濱分院
毎週月、水、金、午後五時出診
小名濱町中町小學校前

効めて賣れる
りん妙淋丹
病室の設備有り入院應需
小名濱町中島通
シライシヤクホ

大衆食堂
時代の生んだ
金時バー
小名濱町中島通
電話十二番

秋の行樂、一日の清遊に
川前の耶馬溪へ
川魚の御料理と
美人のサービスが御待致して居升
美妓連の御用は何時でも
御料理
若島屋
本店 田村郡小野新町
出張所 石城郡小川村小川

漆器と家具は
平町和久井屋
電話四〇五番

時計の御用は當店へ
流行界のナンバーワン
緑の地平線
銃執りて
内山時計店
電話四九番

難波醫院
醫學博士 難波 睦
平町大町七番地

般一科齒・腔口
院醫科齒部池
町名江